

令和3年度 学校評価書

評価の基準 (3:よくできた 2:できた 1:あまりできなかった 0:まったくできな

項目	評価の観点	自己評価(教職員による評価と平均値)(3・2・1・0)				中項目の評価	学校関係者評価(3・2・1・0)	今後の改善に向けて	
		昨年度		今年度					現況
		項目別	中項目	項目別	中項目				
主体的・対話的で深い学び	1 支持的風土を育てる学級・学年集団づくりの実践を行っている。	2.26		2.30		2.91	・今後も主体的・対話的で深い学びを具体的に追求する中で、iPadを効果的に活用した授業実践を日常化し、児童が共に学び、共に高め合う学校を目指していく。 ・分からないことを「分からない」と素直に発信し、その思いに素直に応えられる学級集団を目指し、自尊感情に支えられた支持的風土を土台に、学力向上を目指していく。		
	2 協同する体験・伝え合う喜び・コミュニケーション能力の育成を図る授業の工夫改善をしている。(ICTの活用を含む)	2.17	2.11	2.52	2.42				
	3 主体的、対話的で深い学びを追求する授業研究や研修会を行っている。	1.91		2.43					
道徳教育の充実	4 生命を尊重する心やいじめを許さない態度などの道徳的実践力を育てる活動を実施している。	2.30		2.57		2.69	・参観や通信等を通して家庭に返し、連携を図る。 ・デジタル教科書の活用、掲示資料の蓄積を呼びかけ、授業がしやすい環境を整える。 ・道徳科の指導計画、指導内容の明確化、指導方法の改善、評価の見直し等を絶え間なく行い、見直ししていく。 ・自尊感情や人・もの・自然を大切に「豊かな心」を育てるため、計画と評価のサイクルを止めることなく、取組を充実させていく。		
	5 道徳科の授業・評価に関する研究や資料の開発・整備・交流を行っている。	1.73	2.02	1.87	2.25				
	6 保護者等への道徳の授業公開を行っている。	/		2.32					
体力づくり	7 たくましい心と体を育てる魅力ある授業の工夫改善を行っている。	2.30		2.26		2.82	・体力向上、運動習慣の定着に向け、今後も家庭の協力を得る努力をしながら取り組んでいく。 ・教員主体の取組はもちろん、児童会主体の取組等についても評価改善しながら継続して取り組んでいく。 ・体育の宿題の内容・方法の改善に取り組む。		
	8 体力づくりを推進する運動実践をしている。	2.08	2.13	2.26	2.26				
	9 体を動かす気持ちよさを体験させ、進んで体を動かそうとする意欲の育成を行っている。	2.00		2.26					
指導改善(組織的・計画的)	10 学力向上を目指した指導体制・指導方法の工夫や改善を行っている。	2.13		2.26		2.82	・今後も自ら学ぶ力の向上のため、子どもたちの主体的な学びのサイクルを作り出すよう教材研究を軸においた指導改善に努めていく。 ・「めあて」「振り返り」を指導過程に定着させることはもちろん、指導者がつけた力の明確化を図り、児童にとって意欲の向上につながったり、見通しが持たたりする「めあて」の提示を実践する。		
	11 教職員の指導力、情報活用能力、及び組織的な教育力の向上に努めている。	1.91	1.85	2.26	2.19				
	12 校務の効率化など多忙化解消の取組と教育活動の質の改善を行っている。	1.52		2.04					
育ちと学びを支える連携	① 家庭・地域との連携	13 保護者の子育てに対する積極的な支援を行っている。	2.04		2.22		2.82	・今年度も地域の行事が中止される中で、夢づくりプロジェクトの活動に子どもたちと一緒に夢を抱き、応援していけることをうれしく思います。小学生ならではの発想を大切に、実現の具現化に向け、色々な人の力を合わせて成し遂げる喜びを味わい、地域への愛着心をもっと成長して欲しいことを願っています。次年度は子どもたちと交流し、試行錯誤できる場が持てると思います。	
		14 保護者・地域との交流や情報発信、参観、懇談会、研修会の実施、地域人材の活用をしている。	1.78	2.11	2.04	2.19			
		15 防災教育の推進、感染症対策の推進等、安心・安全な学校づくりを行っている。	2.52		2.30				
	② 保幼小中の連携	16 子どもの校種間交流や教員の出前授業を行っている。	/		1.94		/	・今年度もコロナ禍ではありましたが、交流についても今年年のやり方で工夫しながら相手思いの気持ちを育むことができました。心より感謝申し上げます。 ・児童と生徒・園児を中心としながら、児童と教員、教員相互の交流・連携を活性化させると共に、保幼小中のつながりを意識した取組を継続して展開する。 ・保幼から小、小から中への円滑な接続ができるような取組を検討したい。 ・保幼小で「スタートカリキュラム」についての見直しを行い、より充実したものにしていきたい。	
		17 校種間の授業公開や合同研修会を行っている。	/	####	2.00	1.90			
		18 保幼小中の接続期の教育課程の編成等校種間のカリキュラム研究を行っている。	/		1.75				
組織的体制の充実	① 生徒指導体制の充実	19 いじめや暴力行為、不登校等生徒指導上の諸課題の早期発見、日常的な予防指導に努めている。	2.52		2.52		2.64	・何時も教育の向上に活動いただきありがとうございます。学校での集団生活と学校外での行動は予想外の事も生じる可能性もあり、住民の私たちも気づかない点もあると思います。また、学校内で何事もないように思われる事も家庭に戻ると我慢した感情が出て、体調不良や不登校にもつながる様で、大変難しい問題かもしませんが、スクールカウンセラーを始め、教師の方々もより細かい気遣いよろしくお願いします。また、現在問題のヤングケアラーの子どもはおられないかもしれませんが、心遣いよろしくお願いします。 ・生活面・学習面ことあるごとにお話させていただき、ありがたく思っています。今後も子どもたちのために力を合わせていけたらと思います。	
		20 生徒指導・教育相談体制の確立と組織的な推進している。	2.69		2.74				
		21 家庭・地域・関係機関との連携による指導を行っている。	2.52		2.65				
	② 特別支援教育の充実	22 個別の教育支援計画及び個別の指導計画の作成と活用をしている。	2.65		2.83		2.55	・教育のユニバーサル(UD)化に努め、授業の改善・配慮、誰にとっても過ごしやすい学校づくりを進める。 ・関係機関・保幼小中・保護者と連携しながら、一人ひとりの育ちを見つめ、必要に応じて個別の教育支援計画を作成し大域的見地に立った支援を行う。	
		23 組織的・計画的な特別支援教育体制の確立をしている。	2.52	2.58	2.70	2.72			
		24 関係機関と連携した相談体制の充実に努めている。	2.56		2.65				
学校満足度	25 児童生徒の学校満足度	2.45		2.47			・1年生の子どもに出会うと、どの子も「学校楽しい！」と笑顔で答えてくれます。そのことに安心し、日頃、先生たちが子どもたちが自ら学び、意欲的に授業に向かえるような工夫をされたり、心あたりのいいクラス集団作りをされていることの証だと思っています。		
読書活動	26 朝読書等の読書活動の積極的な取組	2.38		2.26		2.82	・豊かな感性や情緒を育み、学力向上の基盤となる読書活動の取組を今後も継続していく。 ・今後、読書の内容を教職員間で一致させて朝読書の4原則(みんなで行う・毎日やる・好きな本でよい・ただ読むだけ)に立ち返った読書活動を推進していく。		
体験活動	27 環境教育等体験活動の積極的な取組	2.44		2.52		2.55	・本校の伝統である環境教育をはじめとする体験活動について、評価・改善を繰り返し、更にその重要性を教職員一同で再認識するとともに充実・発展を目指していく。		
※	児童生徒アンケートのすべての評価の平均値(3点満点、小数第2位まで記入)	2.46		2.50					
※	保護者アンケートのすべての評価の平均値(3点満点、小数第2位まで記入)	2.25		2.28					